

## 1 位置付け

- (1) 地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第5項の規定に基づき県議会に提出する決算附属書類
- (2) 県行政に関する基本的な計画の議決に関する条例(平成15年岩手県条例第59号)第5条の規定に基づく県議会への報告書類

## 2 内容と構成

- (1) 平成31年3月に策定した「いわて県民計画(2019~2028)」の第1期アクションプラン・政策推進プランに掲げる各種指標の令和元年度目標に対する元年度末時点の達成状況を示すもの。
- (2) 10の政策分野及び50の政策項目について、指標の達成状況、主な取組事項、指標一覧表などを掲載。

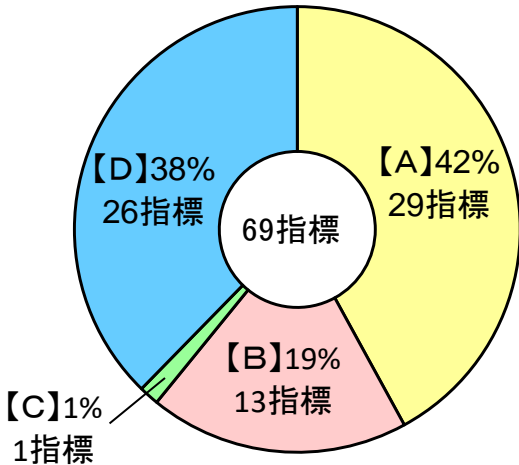
## 3 政策推進プランの達成状況

- (1) いわて幸福関連指標69(82)\*の「概ね達成」以上の割合は61%となりました。  
10の政策分野について見ると、「IV 居住環境・コミュニティ」で67%の指標(3指標のうち2指標)、「III 教育」及び「X 参画」で50%の指標(「III 教育」(18指標のうち9指標)、「X 参画」(6指標のうち3指標)が「やや遅れ」・「遅れ」となっています。)\*指標数の( )内は、未確定指標を含む全指標数。(2)に同じ
- (2) 「具体的な推進方策」を示した505(555)の指標の「概ね達成」以上の割合は78%となりました。  
10の政策分野について見ると、「III 教育」で32%の指標(113指標のうち36指標)、「VII 歴史・文化」で29%の指標(7指標のうち2指標)が「やや遅れ」・「遅れ」となっています。
- (3) 最終目標(令和4年度)に対する進捗状況は、4年間の計画期間の初年度時点において、進捗率25%以上のいわて幸福関連指標が5割程度、同じく具体的推進方策指標が7割程度となっています。
- (4) 年度後半に実施する「政策形成支援評価」では、社会経済情勢等も含めた詳細な分析を行い、これを今後の施策に反映させていきます。

- いわて幸福関連指標: 10の政策分野における幸福に関連する客観的な指標
- 具体的な推進方策: 県が主体となって具体に取り組む施策
- 達成度の見方: 「達成【A】」:100%以上、「概ね達成【B】」:80%以上100%未満、「やや遅れ【C】」:60%以上80%未満、「遅れ【D】」:60%未満

### (1) いわて幸福関連指標の達成状況

- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 42指標(61%)
- ② 「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 27指標(39%)



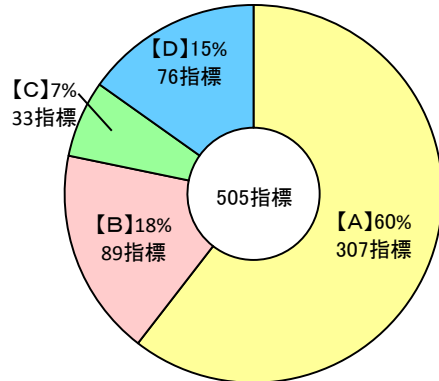
<10の政策分野ごとの達成状況> ※( )内は指標数

政策分野名	達成	概ね達成	やや遅れ	遅れ
	【A】	【B】	【C】	【D】
I 健康・余暇(7)	57%	0%	0%	43%
II 家族・子育て(7)	57%	14%	0%	29%
III 教育(18)	28%	22%	0%	50%
IV 居住環境・コミュニティ(3)	33%	0%	0%	67%
V 安全(4)	50%	25%	0%	25%
VI 仕事・収入(11)	45%	27%	0%	27%
VII 歴史・文化(3)	33%	33%	33%	0%
VIII 自然環境(5)	40%	20%	0%	40%
IX 社会基盤(5)	60%	20%	0%	20%
X 参画(6)	33%	17%	0%	50%
<b>全体(69)</b>	<b>42%</b>	<b>19%</b>	<b>1%</b>	<b>38%</b>

注: 構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

### (2) 具体的推進方策指標の達成状況

- ① 「達成【A】」又は「概ね達成【B】」: 396指標(78%)
- ② 「やや遅れ【C】」又は「遅れ【D】」: 109指標(22%)



### (3) 最終目標(令和4年度)に対する進捗状況

- 進捗率が25%以上となっている指標数
- ① 「いわて幸福関連指標」: 33指標(48%)
  - ② 「具体的推進方策指標」: 340指標(67%)

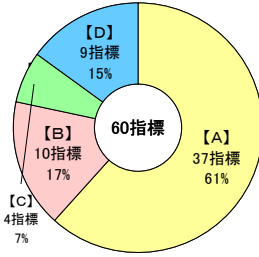
政策分野名	いわて幸福関連指標		具体的推進方策指標	
	25%以上	25%未満	25%以上	25%未満
I 健康・余暇	57%	43%	68%	32%
II 家族・子育て	71%	29%	66%	34%
III 教育	28%	72%	55%	45%
IV 居住環境・コミュニティ	33%	67%	78%	22%
V 安全	75%	25%	68%	32%
VI 仕事・収入	55%	45%	74%	26%
VII 歴史・文化	67%	33%	71%	29%
VIII 自然環境	40%	60%	65%	35%
IX 社会基盤	40%	60%	79%	21%
X 参画	50%	50%	59%	41%
<b>全体</b>	<b>48%</b>	<b>52%</b>	<b>67%</b>	<b>33%</b>

## 4 10の政策分野の具体的な推進方策の状況

凡例 ①「概ね達成」以上の指標が半分以上の主な推進方策  
②「遅れ」が見られた主な推進方策

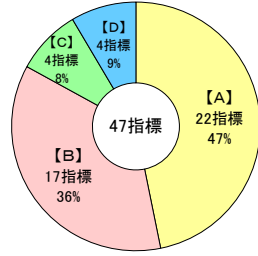
### I 健康・余暇 <概ね達成以上の割合 78%>

- ①「こころの健康づくりの推進」、「多様な学びのニーズに応じた拠点の充実」等
- ②「みんなが安心して暮らせるセーフティーネットの整備」  
(避難行動要支援者の個別計画策定に取り組んでいる市町村数：市町村職員等を対象とした研修会等を開催し働きかけてきたが、地域における避難支援者の確保が難しい等により、個別計画の策定が進まなかったため。)等



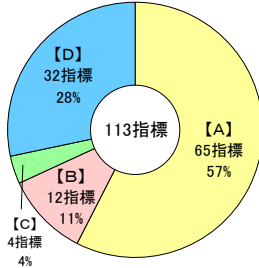
### II 家族・子育て <概ね達成以上の割合 83%>

- ①「安全・安心な出産環境の整備」、「青少年を事件・事故から守る環境づくりの推進」等
- ②「働き方改革の取組の推進」  
(年次有給休暇の取得率：有効求人倍率が長期間にわたり高い水準で推移するなど人手不足の傾向が続いており、従業員の働き方改革に十分に取組めなかったと推察されるため。)等



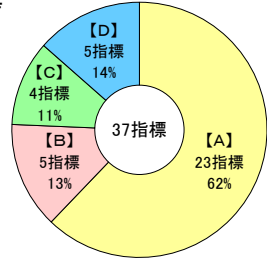
### III 教育 <概ね達成以上の割合 68%>

- ①「就学前から卒業後までの一貫した支援の充実」、「安心して学べる環境の整備」等
- ②「地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進」  
(県内企業等へのインターンシップ参加者数：首都圏を中心とする県外へ就職する学生の割合の増加などを背景として、インターンシップ先として県内企業を選択する学生が減少したため。)等



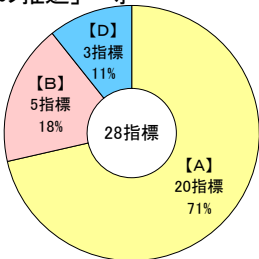
### IV 居住環境・コミュニティ <概ね達成以上の割合 75%>

- ①「快適で魅力あるまちづくりの推進」、「地域コミュニティ活動を支える人材の育成」等
- ②「地域公共交通の利用促進」  
(I GRいわて銀河鉄道の年間利用者数：令和元年東日本台風(台風第19号)による運休、新型コロナウイルス感染症に伴う休校措置等による影響により利用者数が減少したため。)等



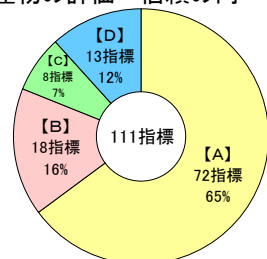
### V 安全 <概ね達成以上の割合 89%>

- ①「地域コミュニティにおける防災体制の強化(共助)」、「感染症の発生やまん延を防止する対策の推進」等
- ②「交通事故抑止対策の推進」  
(交通事故死傷者数：自転車に関係する交通事故、高速道路での交通事故件数が増加した他、高齢ドライバー、青少年ドライバーによる交通事故等の減少率が低く、死傷者数全体の減少が抑制されたため。)等



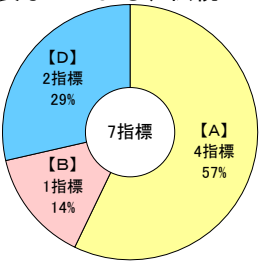
### VI 仕事・収入 <概ね達成以上の割合 81%>

- ①「企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出」、「県産農林水産物の評価・信頼の向上」等
- ②「いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大」  
(国際線の利用率：新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少等に伴い、特に、2月の利用者が大きく減少したため。)等



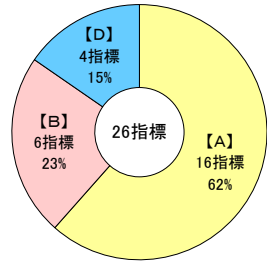
### VII 歴史・文化 <概ね達成以上の割合 71%>

- ①「世界遺産の理解の増進による遺産の適切な保存管理・活用の推進」、「民俗芸能の公演発表などによる、伝統文化への理解促進と情報発信」等
- ②「様々な文化財などを活用した歴史への理解促進と情報発信」  
(「いわての文化情報大事典」ホームページ訪問者数：ホームページの全面リニューアルの周知が進まなかったため。)等



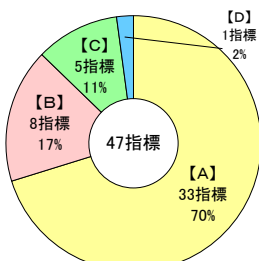
### VIII 自然環境 <概ね達成以上の割合 85%>

- ①「良好な大気・水環境の保全と環境負荷低減に向けた取組の促進」、「三陸ジオパークに関する取組の推進」等
- ②「生物多様性の保全」  
(イヌワシの繁殖率：繁殖成功率の向上を図るために給餌や営巣地の補修に取り組んだが、暴風や野生動物による捕食などの影響があったため。)等



### IX 社会基盤 <概ね達成以上の割合 87%>

- ①「災害に強い道路ネットワークの構築」、「港湾の整備と利活用の促進」等
- ②「社会資本の適切な維持管理等の推進」  
(「岩手県公共施設等総合管理計画」に基づく「個別施設計画」策定数[累計]：国のガイドライン改定を踏まえ、策定期期を見直したため。)等



### X 参画 <概ね達成以上の割合 76%>

- ①「多様な主体の参画・連携・協働に向けた機運醸成とネットワークづくり」、「社会のニーズに対応したNPOの活動促進に向けた支援」等
- ②「多様な生き方が認められる男女共同参画社会の実現に向けた環境の整備」  
(女性委員が参画する市町村防災会議の割合：説明会などで、女性委員の積極的登用について働きかけを行ったが、委員改選が行われなかったため。)等

